

10

October
2013
No. 175

あなたに届けます
JAから

なのはな

IBUSUKI

JA Magazine Nanohana



第62回鹿児島県畜産共進会
参加者の皆様（9月28日
霧島市始良中央家畜市場で）

 **JA いぶすき**

編集発行:いぶすき農業協同組合
〒891-0516鹿児島県指宿市山川成川3830
TEL.0993-35-3411
<http://www.ks-ja.or.jp/ibu/index.html>

第62回鹿児島県畜産共進会

9月28日、霧島市の始良中央家畜市場において、JA鹿児島県経済連主催による第62回鹿児島県畜産共進会が開催されました。県内11地区から59頭が出品され、3部門で審査を行いました。JAいぶすき管内からも若雌1区（12ヶ月～16ヶ月令）に江崎猛さんの「ゆみひら」号、今村秀一さんの「ゆり」号が、若雌2区（17ヶ月～23ヶ月令）に松山清隆さんの「なだ3」号の3頭が出品され、優秀賞を受賞しました。また、褒章授与式において松山清隆さんが多回出品（県畜産共進会10回以上の出品）者として表彰されました。



参加した農家・JA職員



審査会場の様子



表彰された松山さん（写真左）

9月10日、指宿市の指宿中央家畜市場で、JAいぶすき秋季畜産共進会を開催し、江崎猛さん（指宿地区）の「ゆみひら号」がグランドチャンピオンに輝きました。江崎さんは、「昨年引き続き2度目の受賞となり、本当にうれしい。これに励みます。今後の抱負を語りました。」と今

2013年度JAいぶすき秋季畜産共進会

各成績は以下のとおり。（敬称略）

- グランドチャンピオン
江崎 猛（指宿）ゆみひら号
- 若雌1部1席
中野 弘光（開聞）ひかり号
- 若雌2部1席
江崎 猛（指宿）ゆみひら号
- 若雌3部1席
松山 清隆（開聞）なだ3号



グランドチャンピオンに輝いた江崎さん夫婦の「ゆみひら」号

総合ポイント制度稼働記念セレモニー

10月1日、指宿総合支所で総合ポイントカード（JADDOカード）稼働記念セレモニーを開催しました。生産者・役員など約100名が参加。生産者・部会代表者などがくす玉を割り、カードの普及推進を誓いました。西村仁組合長は「新たなJA利用者と組合員加入促進につながる全国で初めての取り組み。組合員・役員が一体となって運動し、地域住民に広げて行きましょう。」と挨拶しました。JAでは今後も生産者や消費者に、広報誌やホームページなどを通じ、カードの利便性を伝えて行きます。



くす玉を割り、
JADDOカード誕生を祝う参加者

JAグループ鹿児島総合ポイントカード

JADDO

じゃつど!



イメージキャラクター
おいどん君

入金年会費無料 **10/1より** **会員募集!!**

ポイントカードが利用できる店舗(一例)



など

JADDOカードは誰でも使える
お得なカードです。入会ご希望の方は、
お近くのJAにお越し下さい。

JAグループ鹿児島
ホームページ <http://www.jaddo.jp>



いぶすき観葉フェア2013秋

J A いぶすき観葉部会は9月10日・11日の2日間、指宿市内の観葉センターで「いぶすき観葉フェア2013秋」を開催しました。全国の市場関係者、管内の生産者など約100名が参加。生産者はそれぞれのブースに出品し、市場関係者と商談を行いました。今回は来場者限定で各農家から通常価格より安いフェア限定の観葉植物も販売しました。

下温湯正弘観葉植物部会長は「指宿の基幹産業として発展している観葉植物ですが、皆様の協力を得て、さらに一歩でも前に進んで行きたい。」と挨拶しました。2日目は農家視察を行いました。

観葉植物部会員は現在60名、観葉センターでは2013年度、9億5500万円の売上高を見込んでいます。



市場関係者と商談を行う生産者



多くの来場者で賑わった会場

えいさつマイモ中間検討会

9月10日、南九州市頰娃町で、2013年産サツマイモ中間検討会を開催しました。会議には、生産者や市場関係者、行政、J A 関係者ら約50名が出席。2L・L階級中心の栽培、また、価格・需要の高い長イモ率の向上と併せて販売の強化を重点課題としていくことを確認しました。

2013年産については、異常気象による消費の低迷、他産地の貯蔵イモが低単価で残量が多かった事などから、共販量325ト(平年比96%)、共販額8127万円(同比69%)、単価275円(同比78%)と厳しい販売となりました。

尾曲幸えいさつまいも専門部会長は「これから始まる「えい太くん」(紅はるか)の出荷に向けて、市場関係者の皆様と一緒に取り組んでいきたい。」と挨拶しました。各市場関係者も県外産地の情勢と今後もえいのサツマイモを高単価で販売を行っていく意欲を語りました。



出荷に向けて意欲を語る尾曲部会長



生徒から生産者へ バイオサツマイモ苗引渡し

鹿児島県立山川高校は9月25日、今年で21回目となるバイオサツマイモ苗引渡し式を開催しました。生徒・生産者・JA関係者など約70名が出席し、実習で育てたバイオ苗を生産者・JAへ手渡ししました。

手渡された苗は、指宿市山川地区の生産者へ配布され、育苗増殖し、植付けはハウス・トンネル栽培で12月から始まり、普通栽培の5月頃まで続きます。

バイオ苗は、サツマイモの重要病害である帯状粗皮症の発病を軽減させ、良質なサツマイモ生産に大きく寄与しています。山川地区の昨年度の青果用サツマイモの実績は出荷量511ト、販売金額8275万円で、販売先市場より果皮色・形状・食味ともに高い評価を受けています。

苗を受け取った桑鶴直勝山川サツマイモ部会副部長は「当地区においてこのバイオ苗はなくてはならないものです。」と感謝の言葉を述べました。

園芸工学・農業経済科3年古田美羽さんは「先輩方から引き継いだ伝統を絶やさない様、これからも品質の良い苗を届けたい。」と強い意欲を語りました。



生徒から生産者・JAへ
バイオサツマイモ苗が引渡された

踏切内の危険性を確認 「交通安全教室」

指宿警察署・JR九州は9月20日、指宿市湯の浜の丹波校区公民館で交通安全教室を開催しました。地元住民など約30名が参加、JAも共済部職員数名が参加し、後援として参加者にペットボトル入りのえい茶、タッチライト、交通安全及び自動車共済のリーフレットなどの交通安全グッズを提供しました。今年、指宿警察署管内で2件起こっている踏切事故を受け、踏切内の危険性や安全確認のため、秋の全国交通安全運動（9/21～30日）を前に開催しました。

参加者は交通安全の講話、DVD視聴の後、準備された模擬踏切で実際に脱出する方法を体験しました。

枝元昭浩JR九州鹿児島支社安全推進室長は「踏切はマナーを守らないと大変危険な場所。閉じ込められた場合は、人命を第一に考えて脱出して下さい。」と参加者に呼び掛けました。



模擬踏切で脱出訓練を行う参加者

南九州市お茶アドバイザー養成講座

9月7日、お茶の普及と消費拡大を目的に、南九州市お茶アドバイザー養成講座（南九州市・市茶業振興会主催）が頼娃町の「畑の郷水土利館」で開催され、20名の受講者が参加しました。受講者は、お茶の手揉みを体験し、お茶の歴史について学びました。JA職員も講師として指導を行いました。

開校式の挨拶で、瀬川三郎茶業振興会頼娃支部会長は「一般の方にもっとお茶のことを知って頂き、南九州市のお茶をPRして下さい。」と挨拶しました。講座は計4回で全講座に参加すれば、お茶アドバイザーと認定され、認定書と急須・お茶が贈られます。



お茶について学んだ受講者

2013年度上半期SAP活動報告会

JAでは、県中央会担い手・法人サポートセンターと連携し、「担い手づくり戦略」を推進・実践する専門職員として、農業振興担当職員（SAP）を2007年3月から設置しています。

9月17日、管内の山川総合支所でSAPの2013年度上期活動実績報告会を開催しました。管内各地区の担当SAP3名、県中央会担い手・法人サポートセンター、JA役職員など13名が参加し、SAPが上半期の農家巡回、担い手の育成・確保、法人化・法人支援などについて実績報告を行いました。報告を行ったSAPの川野文蔵職員は「組合員とJAが共にまい進できるように今後も巡回活動を行い、支援して行きたいです。」と話しました。

西村仁組合長は「SAPの情報拾い上げ、組合員の意見を共有化し、全ての事業に活かして頂きたい。」と挨拶しました。JAは今後もSAPの農家巡回活動を通じて担い手の育成・確保、農家の法人化・法人経営支援、集落営農支援などに取り組んでいきます。



各地区担当SAP

川野(喜入・指宿地区)・吉永(山川・開聞地区)福留(頼娃地区) (左から)

秋かぼちゃ定植

管内では9月初旬から秋かぼちゃの定植を行いました。指宿市開聞の永吉勇一さんの畑でも夫婦で作業を行っていました。永吉さんは「まだまだ暑い日が続くが、日々の管理作業を徹底して、品質の良いかぼちゃを出荷したいです。」と話し、丁寧に定植していました。秋かぼちゃは、12～2月にかけて集荷を予定しており、JAでは873トンの集荷を計画しています。



トレイに播種後、定植している様子

スナップえんどう播種



管理作業を行う生産者

管内では、スナップえんどうの植付けが始まりました。早播きが8月下旬、普通栽培が9月中旬頃に播種し、年内から収穫が始まり、5月上旬ごろまで収穫が出来ます。年内出荷分については、12月のクリスマス商材としての販売を見越し、まだ暑い日が続く中、生産者は播種作業や管理作業を行っていました。JAでは2013年度、面積70ヘクタール、911トンの出荷量を計画しています。

ピーマン定植



ピーマンの苗の生育を確認する生産者

南九州市穎娃町では、8月31日からピーマンの定植を行いました。今年は台風の影響により2～3日定植がずれ込んでいますが、生育は順調です。

2013年度は共販量210トン、共販額7,980万円を見込んでいます。かごしまの農林水産物認証制度も取得しており、今年は8回目の取得を目指しています。生産者は「安心・安全なピーマンの栽培と収量増に向けて頑張っていく。」と今後の意気込みを語りました。

農業機械大展示会を開催

9月20日・21日の2日間、南九州市の南薩農機センターで農業機械展示会を開催しました。約200人が来場し、賑わいました。会場内には最新式の大型トラクター・小型管理機などの農業機械や、園芸作業用品も展示し、来場者の多くは実際に触れながら性能を確認する姿が見られました。2日間で、合計3,070万円の売上となりました。ご来場頂いた皆様、誠にありがとうございました。



様々な機械が並んだ農機展示会

第17回 J Aいぶすき年金友の会 グラウンドゴルフ大会開催

9月26日、第17回 J Aいぶすき年金友の会秋季グラウンドゴルフ大会を指宿市の指宿なのはな運動公園で開催しました。管内から86チームが参加、熱戦を繰り広げ、山川チーム(山川支部)が優勝しました。上位3チームが11月7日に開催される県大会に出場することになりました。

団体成績(敬称略)

- 優勝 山川チーム(山川支部)
- 準優勝 中名ススメ会チーム(喜入支部)
- 第3位 徳光Aチーム(山川支部)



優勝した山川チーム(山川支部)

第42回 J Aいぶすき年金友の会 秋季ゲートボール大会



優勝した永友チーム(山川支部)

9月5日、第42回 J Aいぶすき年金友の会秋季ゲートボール大会を指宿市の指宿サンシティホールで開催しました。管内から21チームが参加、熱戦を繰り広げ、山川支部・永友チームが優勝しました。

団体成績(敬称略)

- 優勝 永友チーム(山川支部)
- 準優勝 有村建設チーム(山川支部)
- 第三位 福元チーム(山川支部)
- 第四位 唐船峡Bチーム(開聞支部)

定年退職者を送る会



古川久男・土岩秋子・吉崎重廣(前列左から)

9月30日、指宿市山川の本所で3名の定年退職者に対し、送る会を開催しました。西村組合長がこれまでの功績について感謝の言葉を述べ、女性職員がそれぞれに花束を手渡しました。定年退職者を代表して、古川久男さんが「長年、組合員・地域住民の皆様に支えて頂いたおかげです。心から深く感謝します。」とお礼の言葉を述べました。皆様、今後ご指導よろしくお願いたします。

敬老の日 ふくれ菓子をプレゼント

9月12日、指宿市の J A生活研修センターで女性部役員が手作りしたふくれ菓子に手紙を添え、澤山和子指宿地区女性部長が各集落の班長に108人分を手渡しました。指宿市西方の垂門集落で長年班長を務めている吉本キヨ子さん(70)は「毎年、私が訪ねて来るのを楽しみに待っている人がいっぱいいますよ。」と笑顔で話しました。



澤山指宿地区女性部長(写真左)から
ふくれ菓子を手渡された吉本さん(写真右)

東日本大震災の復興支援に参加

平成25年度 JAグループ鹿児島第2次支援隊 活動報告

本所 農産部販売課 満永 陽児

宮城県本吉郡南三陸町の戸倉地区で、復興支援活動を実施しました。今回支援活動を実施した場所は、震災前は40～50戸程の集落があり、水田が広がる地域でしたが、震災の津波によってほとんどが流された地域でありました。ここは、平成27年度の水田作付けを目標に復興が計画されており、この場所での草払い作業、がれき拾いを実施いたしました。津波により、木材・石・鉄骨・日用品等様々なものが流されてきており、改めて被害の大きさを実感いたしました。

当初3日間の予定が台風の影響により2日間になり、短期間の支援活動となりましたが、今回JAグループ鹿児島から参加した22名のメンバーの力によって、わずかではありますが、被災地の復興のお役に立てたのではないかと思います。また、震災から2年半が経過しておりますが、被災地の復興はまだまだこれからだと感じました。今後も、被災地の復興に少しでも協力できることがあれば、積極的に取り組んでいきたいと思っております。



作業を行う支援隊員



JAグループ鹿児島支援隊

階層別初級研修会開催

9月中旬から10月まで4回に分けて、階層別初級研修会を開催しました。入組して5年未満の職員、約80名を対象とし、組織の一員である初級職員としての基本動作を学びました。松元孝也代表理事常務は「JAのあり方、コミュニケーション、仕事のやり方についてしっかり学んで欲しい。」と話しました。研修を受けた職員は「とても貴重な時間だった。知識・技術を磨くために積極的に努力をして行く。」と抱負を述べました。



研修会の様子

JA役員連盟 第33回 親睦ソフトボール大会開催

9月21日、第33回親睦ソフトボール大会が開催され、県下JA・連合会から15チーム、307名が参加し、熱戦を繰り広げました。JAいぶすきチームは予選を1勝1引き分けで勝ち抜いたものの、惜しくも決勝トーナメント1回戦で敗退となりました。

団体成績

優勝	JA南さつま
準優勝	JAグリーン鹿児島
第3位	JAさつま日置・JA東部



熱戦を繰り広げたソフトボール大会

さつまいのコロツケ



私たちが
作りました。



山川地区女性部の皆様

材料（4人分）

さつまい	750 g
バター	45 g
砂糖	大さじ3
塩	小さじ1/3
小麦粉	100 g
溶き卵 1 個分と水を合わせたもの	3/4カップ
生パン粉	150 g
揚げ油	

- ① さつまいは皮を厚めにむいて2～4つ切りにし、水に約15分つけてあくを抜く。
- ② 鍋にイモと被るくらいの水を入れ、煮崩れないように20～30分ゆで、湯を捨てる。芋は鍋に残す。
- ③ ②の芋を潰しながら、バター、砂糖、塩を加え軽く練り混ぜ、12等分する。
- ④ ③をふきんなどにのせて丸く形をまとめ、小麦粉、溶き卵と水を合わせたもの、パン粉の順に衣をつけ、165～170℃の油で揚げ、器に盛る。

お母さんにも、子どもにもいいこといっぱい!

日本型食生活のすすめ

Q. 時間がなくて、ちゃんとした朝ごはんを準備できないのですが……。

A. 気負わず、手軽にできるワンプレート朝ごはんはいかがですか？

忙しい現代人の朝。朝ごはんを食べるよりも、あと5分寝たい……。そんな気持ちに、ついついてしまいますよね。でも、朝は脳がエネルギー不足状態。朝ごはんをちゃんととらないと、集中力が高まらず、イライラしたりぼんやりしたりしがちです。朝ごはんは脳のエネルギー源・ブドウ糖をしっかり補給し、毎朝元気なスタートを切りたいですね。

そこで、なんといってもおすすめは、ごはんです。ごはんは粉でなく粒食なのでゆっくりと消化・吸収され、なだらかに血糖値が上がり、長時間持続します。つまり、ごはんは脳にとってひょうに安定した、ブドウ糖の供給源なのです。

「でも、ごはんとおかずを準備する手間が……」と思いませんか？ 大丈夫です。前日のお総菜や、レンジで加熱しただけの野菜、納豆や海苔、卵などの“ごはんの友”、そこに残り物の味噌汁でもあれば、言うことなしです。

ここで、ちょっとしたアイデア。たとえばこれらの簡単おかずを、ひと皿に盛りつけてみてはいかがでしょうか。残り物のごはんとお総菜を、ワンプレートにまとめるのせるだけですから、洗い物も減らせて、一石二鳥です。いつもの朝ごはんを、ちょっぴりおしゃれなカフェ風にアレンジすることで、朝の気分も一新しますよ！

「みんなのよい食プロジェクト」
キャラクター
「美味ちゃん」です！



今月の
「よい食」
キーワード

【脳を支えるブドウ糖】

脳のエネルギー源はブドウ糖だけ。血液中にあるブドウ糖の約50%は脳で消費され、その量は、1日120グラム必要といわれています。ブドウ糖がゼロの状態が数分続くだけで、脳の神経細胞は壊れ、再生できなくなってしまいます。しかし、脳の中では糖を蓄えておくことができないため、つねに血液から得るしかなく、それを体内で作ってくれるのが、ごはんなどのデンプン質です。



「みんなのよい食プロジェクト」は、体と心を支える食のたいせつさ、国産・地元産農畜産物の豊かさ、それを生み出す農業の価値をお伝えし、国産・地元産農畜産物と日本の農業のファンになっていただく、という運動です。

おくやみ(敬称略)

(平成25年8月1日)
平成25年8月31日

【喜入】

飯屋崎 妙子(67)
諸留 澄江(88)

【指指】

徳留 トミ(91)
高田 ミツエ(94)
中西 茂雄(84)
岡崎 スミ久(104)
井上 久(87)
井上 タマエ(97)

【山川】

倉山 伊勢彦(89)
前村 久雄(91)
室屋 一志(84)
外薮 實弘(83)
東上 幸雄(73)
湯之上 義弘(89)
松木 安子(83)
田上 勝生(86)
東川 コトネ(89)
大川 忠愛(94)

【開聞】

坂元 チエ子(83)
宮園 廣志(83)
田中 ナルエ(92)
山崎 愛吉(85)
西川 アツ子(76)
下川 アツ子(85)
押領 正男(84)
東川 タケケ(92)

【顔姪】

吉原 サナエ(95)
下野 義弘(58)
野間 ツルエ(91)
坂元 達雄(98)

つつしんでご冥福を
お祈りいたします。

理事会だより

平成25年9月27日、第9回理事会が開
催され、次の通り協議、承認されました。

【協議内容】

- 平成25年度8月末「資産調査」結果
および「大口貸出先」の状況について
- 全般統制・不祥事未然防止行動計画
の評価項目一覧表について
- 平成25年度鹿児島県地域における肉
用牛生産基盤強化対策事業による固定
資産取得(案)について
- 貸出金の貸出決定について

【報告事項】

- ・ 県常例検査の日程について
- ・ 監事監査の日程について
- ・ 全国監査機構監査(期中Ⅱ)の実施に
ついて
- ・ 自主検査実施状況について
- ・ 金融A D R制度にかかる相談・苦情対
応状況の定期報告(上半期末)につい
て
- ・ 共済A D R制度にかかる相談・苦情対
応状況の定期報告(上半期末)につい
て
- ・ コンプライアンスマニュアルの改定に
ついて
- ・ 支所・事業所等への巡回指導の強化に
ついて
- ・ 平成25年度上半期末事業実績(速報)
及び年度末事業実績見込みについて
- ・ 平成25年度要員計画に対する上半期末
実績報告について
- ・ 総合ポイント制度開始に伴うセレモ
ニーの実施について 他

お子さまの夢を叶えるお金。今から準備しませんか? JA共済

子育てママの応援サイト
はじめてママのお金のこと
お子さまにかかる必要なお金の知識を、
楽しみながら理解できる!

はじめてママ 検索

左記サイトから「こども共済」の資料請求もできます。
<http://kodomo.ja-kyosai.or.jp>

JA西田駐車場のご案内

JR鹿児島中央駅周辺に、お出かけの際はご利用ください。

●年中無休	8:00~	30分
●24時間営業	23:00	100円
●無人パーキング	23:00~8:00	60分 100円

ご連絡先 鹿児島県農協福祉事業株式会社
鹿児島市鴨池新町15番地 (JA鹿児島県会館9階)
TEL.099-258-5626 FAX099-255-9595

組合員資格のご確認をお願いします。

下記に該当する方は、変更手続きが必要になります。お手数ですが、最寄りの支所にてご相談の上お手続きをお願い致します。

- ①正組合員の方
耕作面積が10a未満になった、もしくは1年のうち農業に従事する日数が90日未満になった個人の方
- ②准組合員の方
耕作面積が10a以上になった、もしくは1年のうち農業に従事する日数が90日以上になった個人の方
- ③お名前が変わられた方
- ④お住まいが変わられた方
- ⑤相続による手続き(組合員が死亡された場合など)

【必要なもの】

1. 印鑑
2. 運転免許証や健康保険証などの公的書類
3. 出資証券

変更内容により必要となるものが異なる場合がございます。

お問い合わせは
各支所または本所管理部0993-35-3411までお気軽にご連絡下さい。

編集後記

10月1日より、JAグループ鹿児島総合ポイント制度、J A D D O(じゃっど)カードが誕生しました。JA鹿児島グループの施設・店舗、どこでも使えるカードをお持ちでない方は、お近くのJA・Aコープなどお越し下さい。

表紙の写真

今年も霧島市の始良中央家畜市場で、鹿児島県畜産共進会が開催されました。JA畜産部や出品農家の皆様は、数日前の事前準備から始まり、当日は早朝3時から出発し、共進会に臨みました。会場は熱気に溢れ、参加者の真剣さを感じました。

JAからのお知らせ

平成25年7月より、購買の仕組みが変わりました。

平成25年10月1日現在

【再編後】

地区	地区購買店舗	配送センター
喜入	喜入支所購買	東部配送センター
指宿	新西方支所購買、池田購買店舗 / SS	
山川	小川支所購買	中央配送センター(徳光)
開聞	開聞中央支所購買	
えい	えい中央支所購買	西部配送センター

西部配送センター (えい地区)

電話 0993-39-1148
FAX 0993-39-1076



上野 中野 岡元

中央配送センター (山川・開聞地区)

電話 0993-35-0014
FAX 0993-35-3226



加治佐 肝付

東部配送センター (喜入・指宿地区)

電話 0993-23-3838
FAX 0993-26-3171



黒田 橋本

私たちが注文をお待ちしております。

私たちが配達いたします。



浜崎 伊瀬知 吉崎



山下 新留 福永



今別府 牧瀬 吉永 川畑